



平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月30日

上場会社名 株式会社コロプラ 上場取引所 東  
 コード番号 3668 URL http://colopl.co.jp  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)馬場 功淳  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)土屋 雅彦 (TEL)03(6721)7770  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月6日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	37,731	267.9	16,963	399.0	16,907	391.2	9,572	389.3
25年9月期第3四半期	10,256	—	3,399	—	3,441	—	1,956	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
26年9月期第3四半期	79.69		74.82					
25年9月期第3四半期	16.97		16.18					

- (注) 1. 当社は第3四半期の業績開示を平成25年9月期より行っているため、平成25年9月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 当社は平成24年12月13日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年9月期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。  
 3. 当社は平成25年6月1日付で1株を5株にする株式分割を行っております。また、平成25年10月1日付で1株を3株にする株式分割を行っております。なお、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	38,031	26,822	70.5
25年9月期	13,762	7,876	57.2

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 26,821百万円 25年9月期 7,876百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年9月期	—	0.00	—		
26年9月期(予想)				—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成26年9月期の配当予想額は未定であります。

3. 平成26年9月期の業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	210.1	22,700	295.2	22,640	291.2	12,450	294.4	102.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 4. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年9月期3Q	123,464,000株	25年9月期	118,381,500株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年9月期3Q	190株	25年9月期	-株
----------	------	--------	----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	120,127,868株	25年9月期3Q	115,252,929株
----------	--------------	----------	--------------

(注) 平成25年6月1日付で1株を5株にする株式分割を行っております。また、平成25年10月1日付で1株を3株にする株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

平成26年9月期の業績予想に記載の「1株当たり当期純利益」の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、本書提出日前日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させて算出しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政権交代後の経済政策・金融緩和政策への期待感から、円高の是正や株価回復の兆しが見られるものの、特にアジア経済の景気減退や消費税増税による個人消費低迷への懸念など依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社が属するスマートフォンゲームアプリ市場は引き続き成長を続けており、当社におきましては、こうした市場拡大を背景とした既存タイトルの拡充と新規タイトルの開発に注力してまいりました。

売上の多くを占めるオンライン型ゲームアプリでは、第2四半期会計期間にリリースいたしました「スリングショットブレイブズ」「ほしの島のにゃんこ」の両タイトルがテレビCMを背景にダウンロード数を伸ばし、順調な立ち上がりを見せております。また、前事業年度に提供を開始いたしました「クイズRPG 魔法使いと黒猫のウィズ」や「軍勢RPG 蒼の三国志」といったタイトルが持続的な成長を続け、売上伸長に貢献しております。さらに、平成26年6月には、これまで当社が提供を続けてまいりましたゲームアプリ分野に加え、新たにスマートフォン特化型マーケティングリサーチアプリとして「スマートアンサー」をリリースいたしました。当社ゲームアプリ利用者の一部によるモニタ参加や当社がこれまでに培ったスマートフォンアプリ開発・運用技術のノウハウを活用し新分野での事業展開を行ってまいります。

また、スマートフォン専用カジュアルゲームアプリブランドである「Kuma the Bear (クマ・ザ・ベア)」では、当第3四半期会計期間に5本の新作を投入し、平成26年6月末時点におけるライトゲームアプリの提供本数は74本となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は37,731,126千円（前年同四半期比267.9%増）、営業利益は16,963,809千円（同399.0%増）、経常利益は16,907,459千円（同391.2%増）、四半期純利益は9,572,620千円（同389.3%増）となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は35,827,819千円となり、前事業年度末に比べ23,120,064千円増加いたしました。これは主に、当第3四半期会計期間に公募発行増資を実施したこと等による現金及び預金の増加（前事業年度末比19,919,317千円増）、売掛金の増加（前事業年度末比3,061,335千円増）によるものであります。

また、固定資産は2,203,770千円となり、前事業年度末に比べ1,148,649千円増加いたしました。これは主に、第1四半期会計期間における資金決済に関する法律に基づく供託による敷金及び保証金の増加（前事業年度末比1,372,464千円増）によるものであります。

以上の結果、総資産は38,031,590千円となり、前事業年度末に比べ24,268,713千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は11,208,838千円となり、前事業年度末に比べ5,400,366千円増加いたしました。これは主に、未払金の増加（前事業年度末比697,967千円増）、未

払法人税等の増加（前事業年度末比3,243,245千円増）、未払消費税等の増加（前事業年度末比912,976千円増）によるものであります。

また、平成26年9月にオフィス移転を予定していることに伴って当第3四半期会計期間に資産除去債務の取り崩しを行った結果、固定負債は前事業年度末に比べ77,861千円減少いたしました。

以上の結果、負債合計は11,208,838千円となり、前事業年度末に比べ5,322,505千円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期会計期間末における純資産は26,822,752千円となり、前事業年度末に比べ18,946,207千円増加いたしました。これは主に、当第3四半期会計期間に公募発行増資を実施したこと等による資本金の増加（前事業年度末比4,686,569千円増）及び資本剰余金の増加（前事業年度末比4,686,569千円増）、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比9,572,620千円増）によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、当第3四半期累計期間の業績を踏まえた見直しを行いました結果、平成26年4月30日発表の「平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した通期業績予想を上方修正することといたしました。

なお、別途、平成26年7月30日に「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,317,259	28,236,576
売掛金	3,891,860	6,953,196
たな卸資産	7,850	5,948
その他	492,234	633,225
貸倒引当金	△1,449	△1,127
流動資産合計	12,707,754	35,827,819
固定資産		
有形固定資産	171,298	61,086
無形固定資産	125,038	22,312
投資その他の資産	758,784	2,120,372
固定資産合計	1,055,121	2,203,770
資産合計	13,762,876	38,031,590
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	2,375,644	3,073,611
未払法人税等	2,658,219	5,901,464
賞与引当金	—	88,991
その他	774,606	2,144,769
流動負債合計	5,808,471	11,208,838
固定負債		
資産除去債務	77,861	—
固定負債合計	77,861	—
負債合計	5,886,332	11,208,838
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,582,779	6,269,348
資本剰余金	1,579,580	6,266,149
利益剰余金	4,714,186	14,286,807
自己株式	—	△521
株主資本合計	7,876,546	26,821,784
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△2	23
評価・換算差額等合計	△2	23
新株予約権	—	943
純資産合計	7,876,544	26,822,752
負債純資産合計	13,762,876	38,031,590

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	10,256,173	37,731,126
売上原価	5,300,850	15,597,270
売上総利益	4,955,323	22,133,856
販売費及び一般管理費	1,555,892	5,170,047
営業利益	3,399,431	16,963,809
営業外収益		
受取利息	2,963	2,114
為替差益	54,765	—
雑収入	110	653
営業外収益合計	57,839	2,768
営業外費用		
為替差損	—	1,312
株式交付費	13,343	36,793
株式公開費用	2,000	21,011
営業外費用合計	15,343	59,117
経常利益	3,441,927	16,907,459
税引前四半期純利益	3,441,927	16,907,459
法人税等	1,485,536	7,334,839
四半期純利益	1,956,391	9,572,620



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年4月1日付で東京証券取引所より、当社株式を東京証券取引所マザーズから東京証券取引所市場第一部または市場第二部へ市場変更する旨の承認、平成26年4月9日付で市場第一部の指定を受け、平成26年4月22日をもって東京証券取引所市場第一部銘柄となっております。

平成26年4月1日開催の取締役会において、公募による新株式3,800,000株の発行を決議し、平成26年4月21日に払込が完了しております。

当第3四半期累計期間において、上記公募のほか、新株予約権の行使に伴う新株式発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ4,686,569千円増加しております。その結果、当第3四半期会計期間末における資本金は6,269,348千円、資本剰余金は6,266,149千円となっております。

(セグメント情報等)

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。